

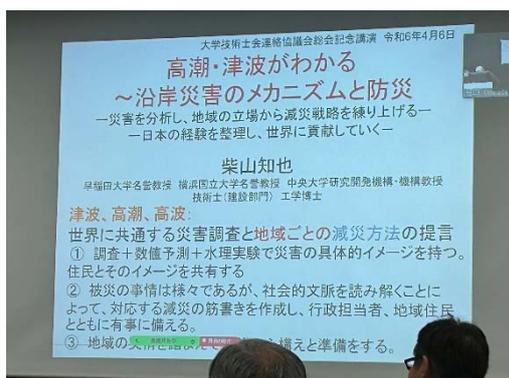
水元技術士会 大学技術士会連絡協議会参加報告

大学技術士会連絡協議会総会参加報告～田中輝幸

日時：2024年4月6日 14:00～16:30 場所：早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館

参加者：38大学 会場参加66名 Web参加26名 懇親会58名

早稲田大学技術士会（稲門会）の笹口裕昭技術士（金属部門）の進行により、原田敬美稲門会会長（建設部門）の挨拶、日本技術士会からの活動報告の後、横浜国立大学・早稲田大学の名誉教授である柴山知也氏（博士、技術士）から「高潮・津波がわかる～沿岸災害のメカニズムと防災」のご講演を頂きました。「地域の事情をくみ取った減災シナリオを創るため



には、数値シミュレーションの結果や温暖化の将来予測、合理的な避難方法といった検討が欠かせない。今後もこれらをアウトプットに、地方自治体の担当者や地域住民とともに有事に備えていくつもりだ」とのお話がありました。

また、日本技術士会資源工学部会での本学前同窓会理事長・板倉賢一名誉教授の「カーボンニュートラルな水素製造による産炭地域創生モデルの構築」のご講演に関して、資源工学部門の2名の技術士からは、「素晴らしい講演を頂きました。資源工学部門は日本技術士会の中で小世帯であるが、板倉先生のご研究の社会実装実現に向け、支えていきたい」とお話しされていました。

懇親会では、技術士資格に対する学側との連携が話題となりました。私学系は、大学と同窓会・技術士会が協力し、産学官一体となって活動をしているとのこと。国立系の複数の技術士会では、学側との連携の難しさを話されていました。

また、新会員の確保についても、個人情報保護法という高い壁の中であって、名簿の充実に各大学とも苦労しているとのこと。

14時総会開始から19時終了の懇親会、その後の二次会と、大変中身の濃い総会参加でした。本学の先生たちのご研究、在京の同窓生の活躍のお陰で、多くの大学技術士会の方々と交際出来ました。今後も大技連との交流を通し、知見を深め、大学、社会に貢献する水元技術士会にしたいと考えております。

